

平成21年3月期 第2四半期決算短信

平成20年11月10日

上場会社名 沢井製菓株式会社

上場取引所 東

コード番号 4555 URL <http://www.sawai.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 澤井 光郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役コーポレート部門担当

(氏名) 尾鼻 康弘

TEL 06-6105-5711

四半期報告書提出予定日 平成20年11月13日

配当支払開始予定日

平成20年12月5日

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第2四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		%	営業利益		%	経常利益		%	四半期純利益		%
	百万円			百万円			百万円			百万円		
21年3月期第2四半期	21,367	—		1,800	—		1,727	—		920	—	
20年3月期第2四半期	18,037	7.3		1,580	△41.6		1,260	△52.0		528	△62.8	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第2四半期	58.59	—
20年3月期第2四半期	33.66	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第2四半期	68,266	40,776	57.2	2,596.95
20年3月期	66,295	40,205	58.3	2,460.17

(参考) 自己資本 21年3月期第2四半期 39,059百万円 20年3月期 38,628百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	30.00	—	25.00	55.00
21年3月期	—	30.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	25.00	55.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		%	営業利益		%	経常利益		%	当期純利益		%	1株当たり当期純利益
	百万円			百万円			百万円			百万円			円 銭
通期	45,000	19.6		4,500	11.2		4,200	23.1		2,300	32.3		146.48

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

新規 — 社(社名)

除外

— 社(社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第2四半期 15,702,000株 20年3月期 15,702,000株

② 期末自己株式数 21年3月期第2四半期 397株 20年3月期 282株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第2四半期 15,701,682株 20年3月期第2四半期 15,701,758株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 平成20年8月8日発表の連結業績予想を修正しておりません。なお、上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

(2) 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国サブプライムローン問題に端を発した金融・資本市場の混乱や米国景気の減速、原油・原材料価格高騰をはじめとした諸物価上昇などの影響による企業収益の伸び悩みや設備投資の抑制傾向に加え、生活防衛意識の高まりなどによる個人消費の落ち込みが見られ、景気後退感が一層強まりました。

医療用医薬品業界におきましては、平成20年4月、ジェネリック医薬品の使用促進策である「処方せん様式の再変更」、診療報酬改定による「後発医薬品調剤体制加算」等の制度変更が実施され、保険薬局を中心としたジェネリック医薬品の市場が拡大しております。また、DPC（急性期入院の包括支払制）導入病院の増加と相俟って、今後入院医療における薬剤選択においても低コストのジェネリック医薬品の採用検討が進むことが期待されます。しかしその一方で、先発医薬品メーカーおよび競合他社間における競争がますます激しさを増してきております。

このような状況下、当社グループは、DPC導入病院・保険薬局への営業強化、需要拡大を展望した生産体制の増強、更なる信頼性向上のための品質管理・情報提供・安定供給に注力しつつ、「選ばれるジェネリック医薬品メーカー」に向けたトップブランド構築に積極的に取り組んでおります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高が21,367百万円（前年同期比18.5%増）、利益面では、営業利益は1,800百万円（同13.9%増）、経常利益は1,727百万円（同37.1%増）、四半期純利益は920百万円（同74.1%増）となりました。

なお、上記の前年同期比増減率は参考数値として記載しております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

① 財政状態の変動状況

総資産は前連結会計年度末（平成20年3月末）対比1,970百万円増加しました。これは売上高の増加に伴う受取手形及び売掛金の増加750百万円、たな卸資産の増加1,589百万円が主な要因であります。負債は前連結会計年度末（平成20年3月末）対比1,399百万円増加しました。支払手形及び買掛金が1,397百万円増加したことが主な要因であります。純資産については、前連結会計年度末（平成20年3月末）対比571百万円の増加となりました。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末比1.1%低下し57.2%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益1,653百万円、減価償却費1,325百万円、たな卸資産の増加1,589百万円を主因として1,022百万円の増加となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出1,622百万円を主因として1,776百万円の支出となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払409百万円を主因として465百万円の支出となりました。以上の結果、現金及び現金同等物の当第2四半期末残高は、前連結会計年度末比1,219百万円減少して4,169百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

対先発医薬品メーカー、競合他社との競争が激化する中、新製品の拡売、市場開拓に注力し売上高の拡大に取り組む一方で、経費については効率的な運用を図ってまいります。

なお、平成21年3月期通期の連結業績予想につきましては、平成20年8月8日発表の数値を変更しておりません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 簡便な会計処理

該当事項はありません。

② 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

② 通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、移動平均法による原価法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号)が適用されたことに伴い、移動平均法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)により算定しております。この結果、当第2四半期連結累計期間においては従来の方法によった場合に比べて、営業利益が540,236千円減少し、経常利益及び税金等調整前四半期純利益がそれぞれ294,235千円減少しております。

(追加情報) 平成20年度の法人税法改正に伴い、当社及び連結子会社は主として機械設備について法人税法の改正による法定耐用年数の延長に伴い、第1四半期連結会計期間より耐用年数の延長を行っております。この結果、当第2四半期連結累計期間においては従来と同一の方法によった場合と比べて売上総利益が58,658千円、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ59,947千円増加しております。

5. 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,169,674	5,388,857
受取手形及び売掛金	16,062,549	15,312,090
商品及び製品	7,008,089	6,649,094
仕掛品	3,114,441	2,742,994
原材料及び貯蔵品	4,967,421	4,108,079
繰延税金資産	1,159,857	709,886
その他	424,978	452,642
貸倒引当金	△23,471	△22,380
流動資産合計	36,883,540	35,341,265
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	15,735,550	15,882,507
機械装置及び運搬具（純額）	6,034,816	5,480,113
土地	4,861,590	4,861,590
建設仮勘定	1,773,537	1,564,206
その他（純額）	1,079,761	1,066,650
有形固定資産合計	29,485,255	28,855,068
無形固定資産	668,167	762,619
投資その他の資産		
投資有価証券	655,604	820,925
長期貸付金	274,326	216,338
長期前払費用	83,900	90,481
繰延税金資産	6,878	—
その他	241,015	261,721
貸倒引当金	△32,449	△53,104
投資その他の資産合計	1,229,276	1,336,361
固定資産合計	31,382,699	30,954,049
資産合計	68,266,240	66,295,315

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,300,960	6,903,729
短期借入金	5,092,256	4,143,616
未払金	3,296,562	3,798,777
未払法人税等	1,095,909	821,156
賞与引当金	817,464	813,918
役員賞与引当金	24,895	44,625
返品調整引当金	160,232	154,390
売上割戻引当金	804,178	263,480
その他	210,646	207,822
流動負債合計	19,803,106	17,151,515
固定負債		
長期借入金	6,486,770	7,490,288
退職給付引当金	138,858	169,169
役員退職慰労引当金	197,443	387,408
繰延税金負債	139,272	207,017
負ののれん	36,097	41,948
その他	688,364	642,725
固定負債合計	7,686,806	8,938,556
負債合計	27,489,912	26,090,072
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,501,654	11,501,654
資本剰余金	11,825,350	11,825,350
利益剰余金	15,597,551	15,068,919
自己株式	△1,819	△1,280
株主資本合計	38,922,737	38,394,644
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	136,665	234,216
評価・換算差額等合計	136,665	234,216
新株予約権	20,836	—
少数株主持分	1,696,088	1,576,381
純資産合計	40,776,327	40,205,242
負債純資産合計	68,266,240	66,295,315

(2) 【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)
売上高	21,367,557
売上原価	12,170,188
売上総利益	9,197,369
販売費及び一般管理費	7,397,234
営業利益	1,800,134
営業外収益	
受取利息及び配当金	9,139
受取補償金	17,055
その他	26,971
営業外収益合計	53,165
営業外費用	
支払利息	86,181
その他	39,983
営業外費用合計	126,164
経常利益	1,727,135
特別利益	969
特別損失	
投資有価証券評価損	49,999
固定資産除却損	22,413
その他	2,396
特別損失合計	74,809
税金等調整前四半期純利益	1,653,296
法人税、住民税及び事業税	1,053,252
法人税等調整額	△456,824
法人税等合計	596,428
少数株主利益	136,826
四半期純利益	920,041

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	1,653,296
減価償却費	1,325,156
売上債権の増減額(△は増加)	△750,459
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,589,783
仕入債務の増減額(△は減少)	1,444,965
未払金の増減額(△は減少)	△766,126
その他	614,799
小計	1,931,848
利息及び配当金の受取額	9,139
利息の支払額	△85,118
法人税等の支払額	△833,536
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,022,333
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△1,622,849
無形固定資産の取得による支出	△46,510
長期貸付けによる支出	△70,000
長期貸付金の回収による収入	11,951
投資有価証券の取得による支出	△50,000
その他	970
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,776,437
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,000,000
長期借入れによる収入	50,000
長期借入金の返済による支出	△1,104,878
自己株式の取得による支出	△539
配当金の支払額	△392,542
少数株主への配当金の支払額	△17,119
財務活動によるキャッシュ・フロー	△465,079
現金及び現金同等物に係る換算差額	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,219,183
現金及び現金同等物の期首残高	5,388,857
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,169,674

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

① 事業の種類別セグメント情報

当第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）

当社及び連結子会社の事業区分は、製品の種類、性質、製造方法及び市場等の類似性を考慮した結果、医療用医薬品の製造及び販売を中心とする「製薬事業」に属しているため、事業の種類別セグメント情報の記載をしておりません。

② 所在地別セグメント情報

当第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）

在外連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

③ 海外売上高

当第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）

海外売上高は、連結売上高の10%未満のため、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表

(1) (要約) 中間連結損益計算書

科目	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)
	金額(千円)
I 売上高	18,037,901
II 売上原価	9,779,433
売上総利益	8,258,467
III 販売費及び一般管理費	6,677,875
営業利益	1,580,592
IV 営業外収益	46,152
V 営業外費用	366,715
経常利益	1,260,029
VI 特別損失	221,562
税金等調整前四半期純利益	1,038,466
法人税、住民税及び事業税	525,042
法人税等調整額	△94,943
少数株主利益	79,849
四半期純利益	528,518

(2) (要約) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)
区分	金額(千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	1,038,466
減価償却費	1,275,754
売上債権の増減額(△は増加)	△ 427,137
たな卸資産の増減額(△は増加)	917,447
仕入債務の増減額(△は減少)	△ 308,918
未払金の増減額(△は減少)	195,214
その他	693,524
小計	3,384,351
利息及び配当金の受取額	9,272
利息の支払額	△ 90,402
法人税等の支払額	△ 966,892
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,336,329
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△ 3,666,929
その他	△ 165,236
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,832,165
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金による増加	700,000
長期借入金の返済による支出	△ 1,566,108
配当金の支払額	△ 392,544
少数株主への配当金の支払額	△ 78,166
その他	△ 78
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,336,896
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	-
V 現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 2,832,733
VI 現金及び現金同等物の期首残高	7,360,093
VII 現金及び現金同等物の四半期末残高	4,527,359